

1 学校関係者評価実施状況

- (1) 学校関係者評価実施日 令和2年1月30日
- (2) 評価者 鳥栖北小学校学校評議員
- (3) 評価の参考とした資料 児童アンケート結果、保護者アンケート結果
児童・保護者アンケート結果年度内比較表（7月・12月）

2 評価

(1) 学校運営について

① 目標の妥当性及び達成状況

- ・ 目標は妥当であり、達成状況についてもそれぞれの目標で達成できていると思われる。
- ・ めざす学校像の達成度がB評価であるが、7月と12月の結果を比較すると伸びてきているので、取組みの成果は見られる。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・ 取組は適切であり、自己評価の結果も妥当である。

③ 改善方策の適切さ

- ・ 具体的な改善策が提案されており、実施に期待する。
- ・ 来年度から始まるコミュニティ・スクールの取組に期待したい。

(2) 教育活動について

① 目標の妥当性及び達成状況

- ・ 目標は妥当であり、達成状況についてもそれぞれの目標で達成できていると思われる。
- ・ アンケートや調査結果から見ても児童のがんばっている姿が分かる。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・ 取組は適切であり、自己評価の結果も妥当である。

③ 改善方策の適切さ

- ・ 改善策は適切である。
- ・ 安全教育に関しては、確実に実施されることを期待する。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・ 学校行事に地域の方々が参加したり地域の行事に学校から参加したりする機会が増えている。このまま続けてほしい。
- ・ 子どもの安全に関するものなどは最優先に取り組んでほしい。
- ・ 幼稚園、保育園、中学校との連携の大切さを感じる。
- ・ 「あいさつ」など、目に見えてよくなっていると感じられるものがあると、学校としての取組の努力が地域や保護者にも認識されるだろう。
- ・ 特別の教科道徳や外国語の指導、プログラミング教育の導入など、先生方は多様な教育内容への対応が大変だと思う。他校や他県の実践をうまく活用しながら負担軽減を行い、児童と触れ合う時間や直面の課題解決の時間をつくってほしい。